

会合

令和2年度 ASEAN 向け省エネ支援事業の ECAP22 を実施しました

【事業概要】

一般財団法人省エネルギーセンターは、経済産業省の委託（新興国等におけるエネルギー使用合理化等に資する事業・省エネルギー人材育成事業）を受けて、2021年2月8,9,10日の3日間、オンラインでECAP22を実施しました。従来はASEAN各国から日本への受入の形態で実施してきましたが、本年度はCOVID-19の影響で受入研修をオンラインで実施しました。

- (1) 自国省エネ診断結果のプレゼン、レポートの提出
- (2) エネルギー管理制度・手法の構築・熱および電気設備の省エネ技術の講義
- (3) 理解度チェックのための試験実施と総合評価



ACE 開講挨拶



ECCJ 開講挨拶



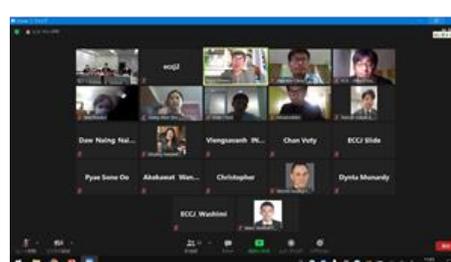
電気講義



熱講義



ECCJ 参加状況



ASEAN 各国の参加状況

「令和2年度のASEANに対する省エネ人材育成事業」のスキーム2プログラムの一環で従来の受入研修ECAP22をオンラインで実施しました。研修にはASEAN各国からエネルギー管理士トレーナー候補の15名、ACEから1名の合計16名が参加し、2月8日から10日の3日間で診断結果報告、エネルギー管理・熱・電気技術の講義、理解度確認試験を実施しました。

- (1) 参加者16名のうち、COVID-19の影響で診断ができなかった方を除く13名が合格でトレーナーとして認証され、そのうち9名が成績優秀者として表彰されることとなりました。
- (2) COVID-19の影響で自国での省エネ診断が困難な中、既に認定されている自国のトレーナーの指導の下、様々な工夫をして診断を完了されたことは高く評価されます。
- (3) 今回期限に間に合わなかった方については、今年度内及び来年度に診断が実施できた時点でレポートの評価をして追加認定する予定です。
- (4) 3日間という短期間の研修を補うため、ナレーション付きの講義資料を事前配布、オンライン試験中のチャットによる疑問点のフォローなどの工夫をして実施できました。
- (5) 今後、日本への受入に拘らず、多くの方が参加できるメリットのあるオンライン研修を併用する形態での人材育成研修を広範囲に拡大していきます。